

講座番号

26

一般市民向け

対面

南の果てから地球を見る(一般市民向け)

南極観測隊のお仕事

募集期間	8月期	令和8年6月1日(月)～30日(火)	
講座概要	地球最後の秘境、宇宙よりも遠い場所、人が住むことのできない唯一の大陸。いろいろな言葉で表される南極だが、実際にはどういうところで、そこに行く人たちはどんな人たちで、何をしているんだろうか？南極やその研究について、実際の南極観測隊員をご紹介します。		
目的	・南極観測を通して地球の環境について学ぶ ・南極観測隊の活動の紹介		
講師	西川 泰弘	所属	理数情報教育系 環境安全科学部門
外部講師	小西 啓之(本学名誉教授)		
受講対象	一般市民向け		
受講料	3300円	定員	子ども向けと合わせて50名
実施方法	対面 (全1回)	開催方法	天王寺キャンパス
注意事項			
持参物	筆記用具		
備考	講義の終わりに質問受けの時間をもうけます。		

回	日程	時間	内容
1	8月9日(日)	10:00 ～ 12:00	2名の講師による45分ずつの講演、そののち質問受け

～講師プロフィール～

西川 泰弘 (理数情報教育系 環境安全科学部門)

大阪教育大学 環境安全科学部門で宇宙や南極、高高度大気などの極限環境下の自然現象を専門に研究・教育を行っています。自然現象の中でも主に地震や音などの波を専門にしています。データの解析だけでなく、NASAやJAXAの惑星探査計画に参加したり、気圧計を持ってアメリカの砂漠に行ったり、南極大陸で地震を観測してきたりと、観測機器を持って野外調査に行くことも多いです。今回は隊員として南極観測隊に参加して得られた経験や最新の南極研究の紹介をして、みなさまが生きる地球について考える場を提供できたらいいと思っています。

